

## 高原夏秋キュウリの雨除け効果と品種

西田富士朗・菊池竜也・\*森田敏雅 (熊本県農業試験場阿蘇分場・\*熊本県農業試験場園芸支場)

Fujiro NISHIDA, Tatsuya KIKUCHI and Toshimasa MORITA: The Cucumber Cultivars harvested thrived through Summer to Fall and It's Vinyl Shelterd Effect

西南暖地の高原地域における夏秋キュウリの栽培は、多雨、台風、高温等により草勢の衰弱が早く、病害が多発するため、収穫期間が短い不安定な作型である。

そこで、生産安定を目的としてパイプハウスの雨除け栽培による多雨、台風対策と病害防除効果および雨除け栽培における適応性品種について検討したので報告する。

## 1. 試験方法

(1981年) 間口6mのパイプハウスを用い、品種は‘きりしま’を供試した。播種は4月20日、主枝1本仕立て、アーチ栽培とし、露地と雨除けの処理区を設けた。

(1982年) 1981年と同様の条件で、自根と接木(台木‘新土佐2号’)の処理区を設けた。

(1983年～1984年) 雨除け栽培での品種選定試験を‘新土佐2号’を用いた接木栽培で実施した。1983年は4月5日播種とし、主枝型～側枝型品種9品種、1984年は5月10日播種とし、中間型品種6品種を供試した。

## 2. 結果および考察

雨除け区は露地区に比較し、初期生育がおう盛となり、収穫期間が約50日長くなり、2倍近く増収したが、後期の上物率はやや低下した。病害は露地区に比較し、べと病、斑点細菌病、褐斑病の発生はなかったが、うどんこ病が多発した。

雨よけ栽培での接木効果は、生育がさらにおう盛となり、接木区の初期収量(6～7月期)が20%、後期収量(9～10月期)が50%増収し、全期間を通し15%増収した。時期別の上物率は、6～7月期は自根区が高く、8月期以後は接木区が高くなった。このことは、接木区の初期生育が過繁茂となり、後期は接木区の草勢が維持されていたためと推察される。

品種では、‘きりしま’、‘かっさい’‘新北星1号’、‘新北星3号’の飛成性、側枝型品種は側枝の発生と伸びがよいため過繁茂になり、管理労力を多く必要とした。また、‘貴婦人’は主枝型、節成性品種で草勢が弱く低収であった。雨除け栽培に適した品種は、近成性～節成性の中間型～主枝型品種と推察され、1983年の試験では‘さちみどり2号’、1984年の試験では‘うんかい’、‘貴婦人ニュータイプ’が勝った。

以上のことから、高原夏秋キュウリの雨除け栽培は、風雨害、病害虫回避による草勢維持対策として有効と思われる。後期の草勢維持と土壤病害を考えると、接木栽培の効果は高いと推察される。露地に比べ雨除け栽培では過繁茂になりやすい上に接木栽培ではさらに過繁茂とな

るため、品種は草勢が穏やかな近成性～節成性の中間型～主枝型品種を選定した方がよいと考えられる。

しかし、雨除け栽培ではハウス内が高温となり、盛夏期の草勢維持が困難であり、後期の上物率が低下することから、高温対策と播種期について検討する必要がある。

第1表 生育・収量に及ぼす雨除け効果 (a当たり)

試験区	草丈	葉数	葉長	葉幅	上物重量	下物重量	総重量	上物率
露地	cm 44	枚 8.7	cm 22.1	cm 18.3	t/a 0.31	t/a 0.30	t/a 0.61	% 50
雨除け	64	9.9	26.1	22.1	0.56	0.63	1.18	47

注) 生育調査は定植後25日目調査

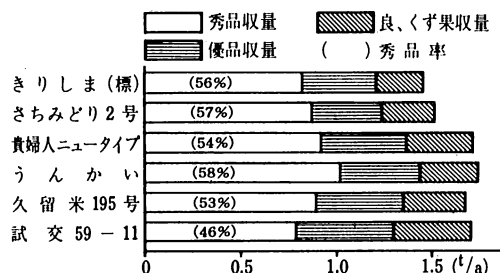
第2表 生育・収量に及ぼす接木効果 (a当たり)

試験区	草丈	葉数	葉長	葉幅	上物重量	下物重量	総重量	上物率
露地	cm 99	枚 20	cm 17	cm 23	t/a 0.93	t/a 0.32	t/a 1.25	% 74.4
雨除け	107	21	18	26	1.12	0.39	1.50	74.5

注) 生育調査は定植後25日目調査

第3表 品種別育成と収量 (1983年)

品 種	葉形	側枝長	下位の 受光状態	主 枝 収穫果数 主枝節数	枝 総重量	秀優	
						重量	比率
きりしま (標)	大	長	やや不良	% 19	t/a 1.55	t/a 1.20	% 77
さちみどり2号	中～小	中～短	良好	47	1.55	1.26	81
省エネ日4号	中	中～長	やや良	29	1.47	1.14	77
久留米107号	中～大	〃	やや良 ～良	27	1.73	1.31	76
かっさい	小	長	不良	10	1.85	1.39	75
貴 婦 人	小～中	短	良 好 (葉数不足)	42	1.41	1.12	79
試 交 12 号	中～大	中	良好	40	1.79	1.43	80
新北星1号	〃	中～長	やや不良	22	1.66	1.36	82
新北星3号	中	〃	不良	13	1.61	1.28	80



第1図 品種別収量と品質 (1984年)